

紫波

まちづくり
2004
SHIWA TOWN SINCE 1955
環境と福祉のまちづくり情報誌



【No.641】

2月号



特集

協働のまちづくりの第一歩 まちづくり座談会



ごみの分別が変わります
報告します 町の老人保健医療費
インターネットを利用して申請手続きが便利に
町職員の給与をお知らせします

みんなのために、自分のために

介護ボランティア (お助け隊) 養成講座

長寿健康課介護保険室では次の養成講座を開催します。5回シリーズですが4回受講した人には、修了書をさしあげます。興味のある講座1回のみでも受講できます。

会場 紫波町保健センター

問合せ・申込 長寿健康課介護保険室

☎672-4522 有線 01-8974



「24時間テレビ 愛は地球を救う」で集められた募金から、宅老所「えんどり」に車イス搬送スロープ付き乗用車が贈呈されました。同募金からの寄付は町に四台目となります。

日程	講座名	所属	講師
2月13日(金) 午後1時~	笑顔が支えるボランティア	県立大学	鈴木真理子さん
2月16日(月)	出会い・ふれあい・分かち合い	日本成人病予防協会	吉田壮一さん
2月20日(金) 午後1時30分~	ボケるって	岩手保養院	矢島先生
2月26日(木)	いっしょにのんびり地域の中で	えんどり	工藤典夫さん
3月8日(月) 午後1時~	高齢者疑似体験	介護実習センター	スタッフ

町長メッセージ 協働のまちづくりへ向かって

平成十六年度の予算編成で悪戦苦闘中であります。

国は膨大な財政赤字で地方交付税を二年前倒して減額しました。いずれの自治体においてもその影響は多大でありましょうが、本町においても例外ではなく、これらを盛り込んだ十六年度予算は相当な絞り込みを余儀なくされる状況です。

県も多額の県費拡大対応のため行財政構造改革プログラムを発表しています。大幅な事業見直しにより補助金、負担金において三百五十件を廃止または縮小しました。これにより四年間に六十億円を削減するという厳しい内容になっています。

国、県が事業を見直すことになり、必然的に町への補助金が交付されなくなり、町単独では継続しがたいものも出てまいります。未だに予算編成には日々調整を加え定まらない状況で、平成

…………… 目 次 ……………

特集

協働のまちづくりの第一歩

まちづくり座談会 …… 3

16年度は日詰地区、
17年度は全地区スタート

ごみの分別が
変わります …… 6

町の老人保健医療費 …… 8

インターネットを利用して
申請手続きが便利に…10

町職員の給与を
お知らせします …… 11

まちの話題 …………… 12

情報掲示板 …………… 15

フオト・歳時記 …………… 16

町内中高生の作品 …… 16

十六年度早々に持続的に自立できる行財政計画策定のためのプロジェクトを編成し、方向性を示してまいります。

厳しい行財政を切り抜けるために肝要なのは、平成十三年度に作成した紫波町総合計画に打ち出した「共生・協働のまちづくり」です。町民、企業、行政が三位一体となつてまちづくりを推進することです。町民ができること、企業がでること、行政が参加していただき、まちづくりを努めていただくことで暗いトンネルから抜け出せると確信しております。すでに多くの方々がまちづくりに尽力してくださっていることに対しては感謝の念に耐えませぬ。今後さらに、町民の皆さんはもとより、町外から訪問くださる方々、そして新たに転入される方やUターンしてこられる方々の「意見も拝聴しながら、共生・協働のまちづくり」に努めてまいります。

(藤原 孝)



まちづくり座談会

協働の まちづくりの 第一歩

今年のまちづくり座談会は、11月22日、保健センターを会場に開催されました。町民と行政の協働による行政経営を創出するために設置されている紫波町経営品質会議との共催で、議長である渡邊一雄さんの司会で進められました。提言を行うのは、昨年まちづくりのためのボランティアとして公募されたしわフェロー(経営品質評価フェロー)と自主的に参加した町民の皆さんでした。



寄せられた 主な提言を ご紹介します

広い範囲からの話題が出された中、今回特徴的だったのは、行政と住民の協働によるまちづくりでした。これまで行政だけの業務と考えられていたことの本来の目的を見直し、住民の協力で効率よくできることはないかを模索する話し合いが行われました。行政側も町民満足度を高めるために、企業意識を取り入れ、行政経営品質を向上させる取り組みを始めています。限られた財政状況の中、住民との協働なくしては実現は難しいものです。

まちづくり座談会の結果をうけて一月二十三日に行われた経営品質会議でも、フェローの意見は前向きであり、もっと住民と行政が情報の共有化をすることが必要であるという話になりました。

提言 1 町議会の傍聴席の状況と議会中継の予定はどうなっているのでしょうか。

A ネットワーク利用で中継を

傍聴席の利用状況は、年によって差がありますが、平均すると年間五十人前後に利用いただいています。席は十人前後と多くはありませんが、それでも半分程度の余席があります。今後、議会中継は地域公共ネットワークを利用し、中継方法など検討の上、逐次運用していきま

す。生放送か録画になるかも要望に応じていきます。

提言 2 東京の武蔵野市では、大通りではなく住宅街を運行するコミュニティバスが好

評のようですが、すこやか号は今後どのように運営していくのですか。

A 地域にあったスタイルを模索

すこやか号、かりん号、温泉バスを統合して現在運営していますが、完成型ではありません。紫波町は面積が広く効率が悪い点もあります。これまでのバスの発想にとらわれないで、地域に合った形を模索していきます。

提言 3 えこ3センターで製造するたい肥などは十分消費できるのですか。

A 高い需要に生産拡大も

農協の減農薬取り組みもあり、町内

の水田では不足も予想され、ボカシたい肥づくりも検討しています。

提言 4 エコオフィスの取り組み状況を教えてください。

A 庁舎内外で積極的に励行

役場庁舎では、昼休み消灯、窓際の節電、電気ポットの廃止、紙両面利用、冷暖房温度設定などに取り組んでいます。町の施策としては木材公共施設、山林の手入れによるCO2削減を図っています。

提言 5 観光面で、新山牧野、展望台の整備が進行していないようですが、今後のように考えていますか。

A 残すべき遺産を広域連携で

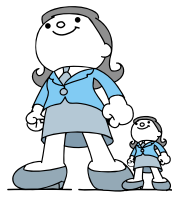


大変経費のかかる事業であり、財源などの問題もありますが、自然遺産の保全には積極的に取り組んでいきます。盛岡・矢巾と広域で協議会を組織し、西部ルートを整備、PRしていきます。

提言 6 役場管理職に女性を登用する予定はないのですか。

A 機会を増やし、まちづくりに反映

これまで、管理職となるべき実績と年齢になる女性職員の定着率が悪かったため実現できませんでした。今後は管理職や各種審議会委員の女性の割合を多くし、女性の知恵とパワーをまちづくりに反映させていきたいと考えています。



提言 7 町税の滞納が三億円以上ありますが、その内訳と対応を教えてください。

A 悪質な滞納には強い措置を

国保・固定資産・町民税がそのほとんどです。悪質な滞納者には差し押さえ、公売など強い措置で対応しています。ただ、今年は冷害の被害を受け、お困りの農家もいると思いますので、分納の相談も受けています。

提言 8 老朽化してきた火葬場の対応はどのようになっていますか。

A 緊急の対応を予定

急ぐべき課題の一つとして検討しています。

提言 9 食の教育について、どのように考えていますか。

A 学校と連携し指導

学校に直接、栄養士が出向いて、クラスを絞って食事の大切さを順番に指導しています。また、学社融合教育で郷土食を地域の人と子どもと一緒に作る機会も設けています。

提言 10 文化面の遅れを痛感しています。特に郷土資料を展示、保存していく施設が必要では。

A 計画に盛り込み推進を

図書館、ホール、博物館は、総合計画の中で必要性の高いものとして計画に盛り込まれてきましたが、特に図書館は平成二十年ごろを目標に整備したいと考えています。



提言 11 中央公民館は芸術祭以外あまり活動していないようですが。

A 町民の自主的な活用場に

講座などは地区を拠点とした地区公民館主催とし、平成大学なども学びたいグループの自主企画や運営を期待しています。



提言 12 町のボランティアの状況はどうなっていますか。

A 生涯学習ボランティアを実践

子どもたちの福祉の心を養うために「ボランティア探検隊」を毎年実施しています。大人については、福祉ボランティアと生涯学習ボランティアの考えがありますが、現代は自分に還ってくるものがある生涯学習ボランティアの力に期待が高まっています。

提言 13 災害時の避難場所の周知と訓練の実施が必要だと思いますが。

A マップを配布。今後は防災組織も

災害防災計画に避難所マップを掲載して配付しています。配付以降にサンブレス紫波が追加されましたが、基

本的な避難場所には変更がありません。今後は地区ごとの自主防災組織を検討しています。

提言 14 下水道の100パーセント完備はいつですか。公共施設だけでも前倒しできないものですか。星山地区は遅れていますが、公共施設もあるので早急にお願いしたい。

A 要望に応じ再検討を

完全整備は平成二十二年年度目標です。公共施設の個別処理は現在佐比内保育所と赤沢児童館を検討中です。星山はほ場整備との調整がつかず、先送りになっていますが再度検討します。

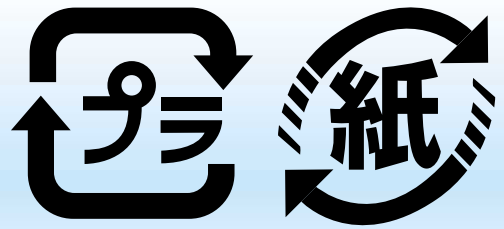
提言 15 除雪について、枝道を地区で協力して行っている例を教えてください。古館の下町地区ではPTAと公民館で通学路の除雪を始めているようです。

A 町では除雪機の貸与で協力を

除雪機、トラクターを持っている人に地区でお願いしているところもあります。町では機械の貸与を検討しているので、地域で協力して行っていただきたいです。

ごみの分別が変わります

16年度は日詰地区で実施
他は17年度スタート



このマークがついた容器・包装は資源ごみ袋(緑)へ

家庭から排出されるごみの中で、容器包装類は大きな比率を占めています。そのリサイクルを進めることは、増え続ける燃やせるごみの大幅な減量と有効な資源の活用につながります。

町では、プラスチック、紙製の容器包装リサイクルを平成十六年四月から町内全域で実施する計画で、昨年十一月から各地区公民館などを会場に「ごみ分別説明会」を開催してきました。

しかし、盛岡・紫波地区環境施設組合の構成三市町(紫波町、盛岡市、矢巾町)の厳しい財政事情から、プラスチック・紙を資源化する施設の整備が遅れております。

このため、新たな容器包装の分別は全町一斉の実施予定でしたが、平成十六年度は日詰地区が先行実施し、他の地域は、平成十七年度からの実施になります。

プラスチック製容器・包装の例

ふた類
ペットボトル、空きびん、プラスチック容器などのプラスチック製のふた

ポリ袋・ラップ類
食料品や日用品のプラスチック製の袋・ラップ

ボトル類
食料品や日用品のプラスチック製のボトル(ペットボトルは除く)

カップ・パック類
食料品や日用品のプラスチック製のカップ・パック

網・ネット類
食料品のプラスチック製ネットなど

トレイ類
食料品のプラスチック製トレイ

緩衝材類
家電製品の発泡スチロール製緩衝材など

紙製容器・包装の例

紙缶・カップ類
食料品や日用品の紙缶・カップ

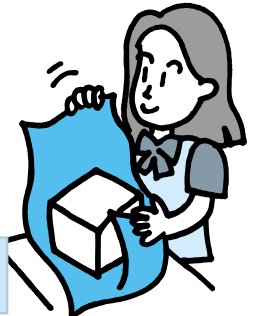
紙箱類
食料品や日用品の紙箱

紙袋類
食料品や日用品の袋類

台紙類
カップのプリン・ゼリーを始めとした食料品や日用品の紙製の台紙

パック類
内側にアルミ箔が張られている物

包装紙類
デパートなどの包装紙



日詰地区以外は当面の間、燃やせるごみの取り扱いになりますが、平成17年度からの本格実施に備えて、上の例を参考に容器包装類のごみ分別に取り組んでみましょう。紙製容器包装にも、ティッシュや菓子の箱、包装紙などのように、集団資源回収の対象品目となるものがありますので、限りある資源を有効に使い、循環型社会の構築にご協力をお願いいたします。



ごみ減量女性会議
構成員の皆さん



- 紫波町ごみ減量女性会議構成員敬称略)
- 会長 長 瀬川 智子(紫波町連合婦人会)
 - 副会長 熊谷 紀(赤石生活学校)
 - 事務局長 佐々木意子(岩手中央農業協同組合紫波地域女性部)
 - 高橋 節子(紫波町交通安全母の会連絡協議会)
 - 熊谷 優子(紫波町商工会女性部)
 - 野村 光子(紫波町更生保護女性部の会)
 - 稲垣 京子(岩手県母子専福福祉協会紫波町支部)
 - 戸塚 和子(紫波町生活研究ケリシテイス連絡協議会)
 - 小澤由香里(紫波町食生活改善推進員協議会)

皆さんの任期は、三月三十一日までです。

昨年十月二十七日、生活者の立場でごみ減量を推進するため、町内の女性八団体と生活学校で構成する紫波町ごみ減量女性会議(瀬川智子会長)が発足しました。女性会議では、マイバッグ運動の推進、エコ・ショップ申込店の審査、白色トレイ削減を活動の三本柱として取り組んでいきます。

女性会議のこれまでの取り組み

これまで女性会議からは、行政や事業所に対して、ごみ減量化に向けた実践的な取り組みが提案され、すでに実施されているものもあります。そのひとつが、昨年十一月十日からスタートしている紫波町ポイントカード会の加盟店によるマイバッグポイントカード制度です。また、昨年十月から町民課窓口で、転

入者に指定ごみ袋のサンプルを無料配付しています。この取り組みも女性会議からの提案によるものです。

ごみ減量対話集会の開催

十一月二十六日には、各女性団体の会員をはじめ、町内大型小売店舗や商工会、農協関係者など総勢四十人が参加し、「ごみ減量への生活者の取り組み」を見直そう、「ごみは買わない、作らない」をテーマに開催した、「ごみ減量対話集会」で活発な意見交換を行いました。

参加した事業所などの担当者から現在店舗で実施している環境に配慮した取組事例の発表が行われ、各店舗のごみ減量に対する意識の高さがうかがわれました。

各店舗の環境に配慮した取り組みが、今後更に推進されるよう、女性会議では、対話集会を継続して開催する予定です。

循環型まちづくりを協働で推進

東北銀行内に 資源循環コーナー

東北銀行紫波支店では、町が進める循環型まちづくりを支援するための展示コーナーを店舗内に設けています。一月十五日にNPO法人紫波みらい研究所と環境課が連携し、森林資源循環の取り組みを展示しました。

今後も毎月一テーマを取り上げ、地産地消、環境探検隊、無機資源循環など取り組みを紹介していく予定です。



ごみ減量・リサイクルに関する
問合せ

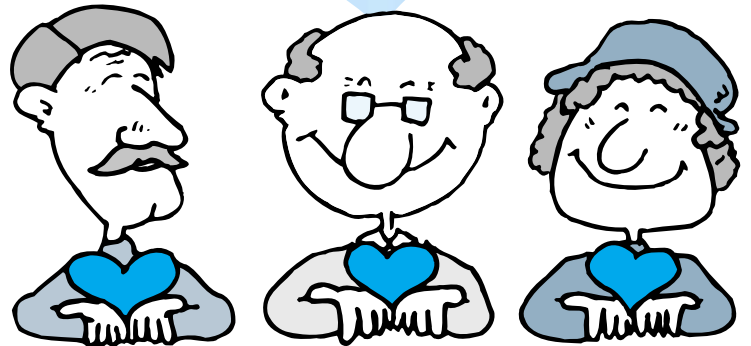
紫波町衛生組合連合会・環境課
☎ 672 2111 内線5521

老人保健制度は、高齢者の医療費負担を軽くし、安心して治療を受けられるようにするための制度です。

昭和7年9月30日以前に生まれた人と、65歳以上で一定の障害のある人が対象です。自分で払う費用（一部負担金）は、1割（一定以上所得者は2割）です。1ヵ月間に一定以上の医療費を支払った人は、申請により高額医療費の支給を受けることができます。

ここでは、町の老人保健医療に関する費用などを紹介します。

報告します 町の老人保健医療費



項目	13年度		14年度		医療費増減
	医療件数	医療費	医療件数	医療費	
入院	4,531件	1,657,643,370円	4,509件	1,688,391,389円	1.85%
入院外	70,732件	1,153,577,822円	74,108件	973,234,862円	15.63%
歯科	6,002件	129,275,890円	6,144件	119,437,707円	7.61%
調剤	33,703件	404,802,650円	44,684件	544,671,538円	34.55%
食事療養費	4,206件	177,577,182円	4,119件	175,821,759円	0.99%
その他 ¹	652件	8,628,626円	1,671件	15,789,173円	82.99%
計	119,826件	3,531,505,540円	135,235件	3,517,346,428円	0.40%

年度比較

トータルではほぼ同額の年度比較
老人医療にかかる医療件数、医療費を年度比較しました。入院外の医療費が大きく減じていますが、一部の病院で院外処方に切り替えたことにより、調剤の医療件数、医療費は大きく増加しています。平成十四年十月に行われた老人保健法の改正により、高額医療費の適用件数、金額が増加しました。平成十

1 高額医療費の支払など

年齢層比較

疾病分類項目	件数			医療費		
	70歳以上	全体	70歳以上が占める割合	70歳以上	全体	70歳以上が占める割合
感染症、寄生虫症	133件	317件	42%	3,913,450円	6,572,810円	60%
新生物	166件	315件	53%	16,479,150円	28,568,150円	58%
血液・造血器の疾患、免疫障害	6件	24件	25%	44,250円	232,620円	19%
内分泌、栄養および代謝疾患	314件	759件	41%	8,515,050円	15,482,980円	55%
精神および行動の障害	74件	322件	23%	6,733,280円	28,525,430円	24%
神経系の疾患	72件	176件	41%	3,048,340円	7,904,030円	39%
眼および付属器の疾患	587件	1,047件	56%	5,931,080円	9,783,530円	61%
耳および乳様突起の疾患	42件	94件	45%	310,570円	1,717,000円	18%
循環器系の疾患	1,656件	2,793件	59%	56,408,990円	79,420,510円	71%
呼吸器系の疾患	185件	727件	25%	9,869,970円	14,985,400円	66%
消化器系の疾患	583件	1,633件	36%	13,123,460円	35,420,080円	37%
皮膚および皮下組織の疾患	98件	381件	26%	1,320,480円	4,527,970円	29%
筋骨格系および結合組織の疾患	466件	944件	49%	7,418,970円	13,067,150円	57%
泌尿器系の疾患	127件	275件	46%	7,529,370円	15,443,490円	49%
その他	28件	78件	36%	556,370円	1,351,670円	41%
損傷、中毒、その他の外因の影響	101件	240件	42%	3,985,940円	14,362,880円	28%
合 計	4,638件	10,144件	46%	145,188,720円	278,077,480円	52%

四年四月に医療単価が引き下げられましたが、医療件数の増加などの影響で医療費総額は同程度となっています。
全体のほぼ半分を占める七十歳以上の医療費
七十歳以上と、全体の医療件数、医療費用額の比較です。平成十四年度に紫波町国保に加入している人のデータで比較しました。七十歳以上の件数、費用額は全体の半分を占めています。

上記の表は14年度5月分の国保加入者集計

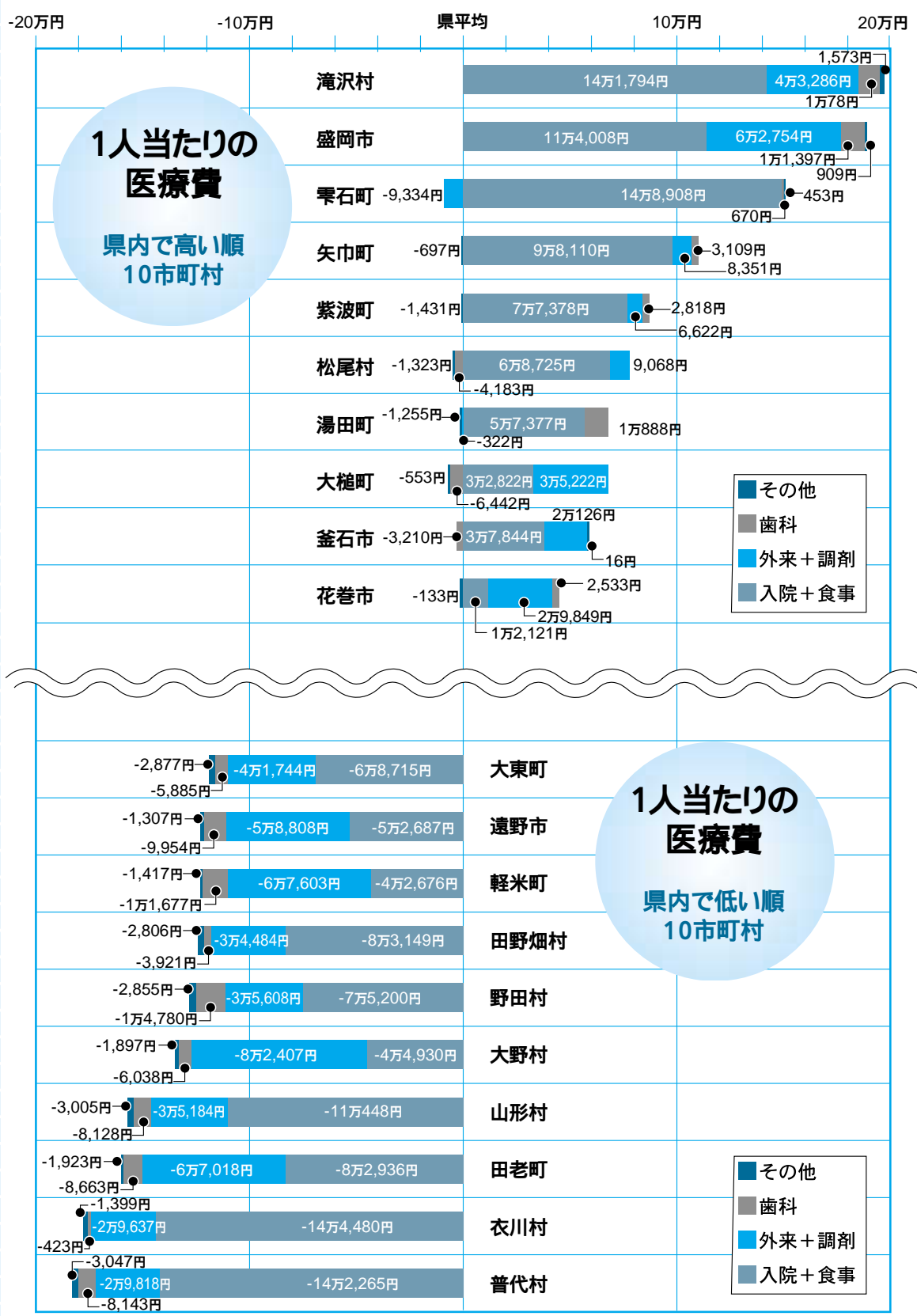
県平均 677,385 円		増減
1	滝沢村	196,731 円
2	盛岡市	189,067 円
3	雫石町	140,697 円
4	矢巾町	108,873 円
5	紫波町	85,388 円
6	松尾村	72,287 円
7	湯田町	66,687 円
8	大槌町	61,050 円
9	釜石市	54,775 円
10	花巻市	44,370 円
11	川崎村	11,620 円
12	石鳥谷町	7,588 円
13	西根町	-6,969 円
14	宮守村	-12,259 円
15	水沢市	-12,995 円
16	前沢町	-21,485 円
17	浄法寺町	-25,502 円
18	宮古市	-29,875 円
19	玉山村	-30,290 円
20	沢内村	-32,946 円
21	一関市	-33,645 円
22	江刺市	-39,393 円
23	住田町	-40,225 円
24	北上市	-44,269 円
25	金ヶ崎町	-45,854 円
26	東山町	-47,457 円
27	平泉町	-55,025 円
28	安代町	-66,681 円
29	山田町	-70,397 円
30	岩泉町	-71,426 円
31	葛巻町	-72,546 円
32	胆沢町	-73,505 円
33	花泉町	-76,519 円
34	種市町	-78,071 円
35	大船渡市	-79,178 円
36	川井村	-82,613 円
37	千厩町	-85,349 円
38	岩手町	-88,276 円
39	二戸市	-89,802 円
40	陸前高田市	-90,065 円
41	室根村	-95,335 円
42	久慈市	-95,429 円
43	大迫町	-98,642 円
44	東和町	-100,838 円
45	藤沢町	-111,679 円
46	一戸町	-113,183 円
47	九戸村	-113,523 円
48	新里村	-117,506 円
49	大東町	-119,221 円
50	遠野市	-122,757 円
51	軽米町	-123,373 円
52	田野畑村	-124,360 円
53	野田村	-128,443 円
54	大野村	-135,271 円
55	山形村	-156,766 円
56	田老町	-160,540 円
57	衣川村	-175,938 円
58	普代村	-183,273 円

他市町村との比較

岩手県国民健康保険団体連
合会よりデータ提供

1人当たりの「入院+食事」の県平均は
333,607円、「外来+調剤」が316,717円、
「歯科」は23,683円、「その他」3,377円となっ
ています。

下のグラフは、平成14年度の医療費が高い
市町村と低い市町村を順に10市町村を比較し
たものです。また左の表はその合計を高い市
町村から並べたものです。紫波町は県内市町
村中5番目に「1人当たりの医療費」が高くな
っています。これは入院+食事にかかる費用が
県平均より約7万円上回っていることが
要因となっています。



インターネットを利用して 申請手続きが 便利に

問合せ 町民課町民窓口室 ☎672-6862



紫波町ホームページを活用した
電子申請ができるようになりました

今年度から、町独自のサービスとして行ってきた電話による住民票などの予約に加えてインターネットによる電子予約を始めます。町のホームページに電子申請の欄がありますので、必要事項を入力して送信してください。

送信は二十四時間可能ですが、翌日が休日となる場合は、その前日の午後三時までには送信されなければ翌日以降の休日は交付を受けられないので注意してください。

例 金曜の午後三時前に送信を行った場合

翌日の土曜以降からの交付となります。

金曜の午後三時過ぎに送信を行った場合

次の週の平日以降からの交付となります。

電子予約できる証明書の種類

住民票、印鑑証明書

交付場所・時間

〔平日〕 町民課窓口 午前八時三十分～午後五時十五分（窓口延長日は午後七時まで）

〔休日〕 役場宿直室 午前八時三十分～午後五時十五分

申請を受けてから二週間保管しますので、ご都合のつく日に来庁願います。

交付を受けられる人

本人が同じ世帯員に限ります。

休日に交付を希望する場合は、身分証明書（住民基本台帳カード・運転免許証等）をご持参ください。

また、印鑑証明書の交付を受ける場合には、印鑑登録証を必ず持参願います。



公的個人認証サービスに
ついて紹介します

公的個人認証サービスとは、インターネット上での行政機関に対する申請・届出に対して、送信者が間違いなく本人であることを公的な機関が認証するサービスです。

今後、国・県では、このサービスに基づきインターネット上での申請を認める仕組みになっていきます（例：県におけるパスポート申請など）。

また、皆さんにとっては、このサービスを利用することで、行政機関への申請手続きなどが、自宅のパソコンからでき、大変便利になります。

はじめに、役場窓口で住民基本台帳カードの申請と併せて、公的個人認証も申請してください。なお、三月三十一日（水）まで、公的個人認証の申請手数料は無料となっています。それ以降は、手数料（五百円）がかかります。住民基本台帳カードについては、従来どおり五百円の交付手数料がかかります。

インターネット利用での 申請・届出の流れ

このサービス利用のためには発行されたICカードのほか、ICカード読み込み機が付いたパソコンが必要になります。

① パソコンから行政機関へアクセス

自宅などのパソコンから申請・届出先の行政機関ホームページを開きます。利用したい項目を選択後、必要事項を記入します。

② ICカードをセットし、暗証番号を入力

ICカードの準備が終わったら、“電子署名”をクリック。さらに“送信”をクリックすれば、申請書、電子署名、電子証明書などが暗号化され、行政機関に送られます。

③ 行政機関で受付し、申請終了

電子証明書の確認や申請書との照合が行われ、申請や届出が受け付けられます。これで申請は終了となります。

町職員の給与をお知らせします

町職員の給与は、国、県に準拠して町の条例、規則で定められていますが、町民の皆さんに一層のご理解をいただくため、「紫波ネット」でもあらためてそのあらましをご紹介します。

① 人件費の状況

町の平成14年度一般会計歳出決算額による町長など常勤の特別職と一般職の職員に支払われた人件費です。この中には、水道事業などの公営企業の職員と臨時職員などに支払われた人件費は含まれません。(単位:千円)

住民基本台帳人口 (平成14年度末)	歳出額 A	人件費 B	人件費率 (B/A)
15,331 現在 34,357 人	14,584,488	2,005,897	13.8%

② 一般職の給与費の状況

平成15年度一般会計当初予算からみた一般職の給与費です。町長などの特別職、公営企業等及び臨時職員等に支払われる給与、共済組合の負担金、退職手当などは含まれません。(単位:千円)

職員数 A	給与費			1人当たり 給与費 (B/A)
	給料	職員手当	計 B	
251 人	963,027	602,802	1,565,829	6,238

③ 平均給料と平均年齢の状況 (平成15年4月1日現在・一般会計)

一般行政職と用務員などの技能労務職の平均給料月額と平均年齢です。

	紫波町		国	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	315,829 円	40.0 歳	327,623 円	40.5 歳
技能労務職	293,146 円	40.7 歳	286,340 円	48.9 歳

④ 一般職の初任給の状況 (平成15年4月1日現在)

職員の初任給を学歴別に表しています。

区分	初任給	
一般行政職	大学卒	161,000 円
	高校卒	139,500 円
技能労務職	高校卒	135,100 円

⑤ 一般職の職員手当の状況

期末・勤勉手当の状況 (平成15年度)

民間企業の賞与に当たるもので、支給割合は国と同じです。

区分	6 月期	12 月期	計
期末	1.55 月分	1.45 月分	3.00 月分
勤勉	0.70 月分	0.70 月分	1.40 月分

平成15年度給与改定に伴う給料等の減額は12月期で調整。

時間外勤務手当 (平成14年度・一般会計) (単位:千円)

時間外 勤務手当	14 年度	支給総額	123,124
		職員1人当たり支給年額	542
13 年度	支給総額	116,568	
	職員1人当たり支給年額	452	

扶養・住居・通勤手当の状況 (平成15年4月1日現在)

区分	内 容	
扶養 手当	配偶者	月額 14,000 円
	配偶者以外の扶養親族2人まで	月額 6,000 円
	配偶者がいない場合の1人目	月額 11,000 円
	配偶者が扶養親族でない場合の1人目	月額 6,500 円
	その他の扶養者	月額 5,000 円
	*16歳~22歳の子は5,000円加算	
住居 手当	月額12,000円を超える家賃支払い者または自己が所有する住宅に住む世帯主の職員に支給	
通勤 手当	45,000円を限度とし距離に応じて支給	

特殊勤務手当 (平成14年度・一般会計)

著しく困難な仕事などに携わる職員に支給するものです。

職員全体に占める手当支給職員の割合	8.4%
支給対象職員の平均支給年額	24,605 円
手当の種類	8種類
主な手当の名称	税務手当、道路上作業手当など

⑥ 特別職の報酬等の状況 (平成15年度)

区分	報酬など月額	期末手当	
町長	813,000 円	6 月期	1.7 月分
助役	645,000 円		
収入役	611,000 円	12 月期	1.6 月分
議長	338,000 円		
副議長	275,000 円	計 3.3 月分	
議員	248,000 円		

⑦ 一般職の職員数の状況 (各年4月1日現在) (単位:人)

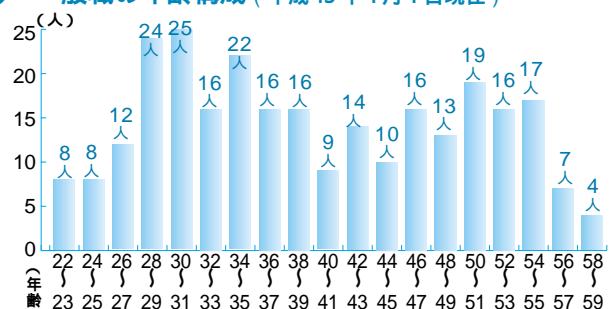
区分	職員数		対前年 増減数	15年増減理由
	14年	15年		
議会	3	3		
総務企画	44	45	1	防災体制の強化
税務	19	19		
民生	77	76	1	児童福祉施設の入所児童減
衛生	14	15	1	業務増
労働				
農林水産	23	23		
商工	6	5	1	事務の統廃合
土木	22	21	1	業務減
教育	44	44		
水道	10	10		
下水道	11	11		
合計	273	272	1	

* 公営企業等の職員を含み、特別職及び臨時職員等は含みません。

⑧ 一般職の職員数の推移 (各年4月1日)

区分	10年	11年	12年	13年	14年	15年
職員数	294 人	293 人	285 人	282 人	273 人	272 人

⑨ 一般職の年齢構成 (平成15年4月1日現在)





稲わらで、ひとつになった子どもたちの思い 星山小と東京都大田区雪谷小との交流

10/27

東京都大田区立雪谷ゆきがや小学校で、わら草履を作る体験学習を行いたいということから、その教材として、星山小学校の実習田で取れた稲わらを提供しました。

この稲わらによる交流は、NPO法人環境学習研究会副理事長の小野紀之さんの紹介により実現しました。小野さんは、平成十五年八月に開催された「水の音原風景」コンサートの際にスタッフとして来町し、紫波町の環境に対する取り組みに関心を持ち、いろいろな面でご協力いただいている人です。

平成十五年十月二十七日には、雪谷小学校の環境学習サポーターを行っている環境学習研究会のメンバーが星山小学校を訪れ、体育館において「稲わらを贈る交流会」が開かれました。そして、星山小学校の子どもたちが自分たちで植え、丹精込めて育てた稲から取れた、わらが贈られました。

その後、紫波町から東京に贈られたわらは、雪谷小学校の子どもたちの手で、立派なわら草履に生まれ変わり、東京都内で開催された環境イベントで展示され、好評を博したそうです。

雪谷小学校の子どもたちからは、感謝の気持ちがいっぱい詰まった手紙が星山小学校に届きました。今回の稲わら交流を通じて感じた気持ちを忘れずに、交流を続けてほしいものです。

星山小学校六年生の子どもたち一同から

「わら草履づくりはいい体験になった」というお手紙をもらって、「わらを贈ってよかったなあ」と思いました。わたしたち、五・六年生は、がんばって田植えから脱穀までやりました。喜んでもらえたので、がんばった甲斐がありました。

わたしたちが普通に見かける「わら」だけど、雪谷小学校の人たちは、今まで見たことがなかったと手紙に書いていて、東京では珍しいものなんだと初めて知りました。

今年も「送ってほしい」と言われたら、あげたいし、私たちの卒業後も東京の雪谷小学校とは、交流を続けていけたらいいなあと思います。

花箆校長先生から

「体験を通して、昔の人たちが営んできた生活を一生懸命学んでいる」と、子どもたちを見て感じしました。

わら草履作りを体験することによって、わらというのがどういう物なのかを知ることができ、幅広い知識を得ることができそうですね。

雪谷小学校の子どもたちからのお手紙を見て、星山小学校の子どもたちは、またわらを贈りたいと言っています。この気持ちが大切なんです。この交流を通して、星山の子どもたちも、わらに対する見方が変わったのではないのでしょうか。たいへん良い勉強の機会をいただいたと思います。

宮沢賢治の親友として賢治全集の出版に尽力した町の先人、藤原嘉藤治を顕彰するフォーラムが開催され、百二十人ほどがラ・フラン又温泉館に集まりました。

藤原嘉藤治は、明治二十九年水分に生まれ、音楽教師だった花巻高等女学校時代に賢治と出会い、楽器を通して深い友情で結ばれ、「セロ弾きのゴーシュ」のモデルといわれています。終戦後は東根開拓に入り、現在の東根山の裾野に牧場を中心とした農地を切り開き、農フォーラムの第一部は嘉藤治をよ

く知るために、長男の嫁として、また育牛の指導者として北海道から藤原家に嫁ぎ、開拓の苦労を共にした藤原艶子さんほか三人のパネラーによるトークが行われました。

主催のかとうじ山こだまの会では、音楽家、教育者であった嘉藤治が、どうして開拓者として農業に精力を注いでいったのかを今後さらに顕彰していくそうです。第二部はチェロの奏者であった先人にちなみ、楽団アンサンブルミックスによる弦楽コンサートでした。最後に演奏にあわせて全員で合唱するなど、和やかな雰囲気が漂っていました。



全国人権作文コンテスト岩手県大会において、紫波第一中学校から二作品が入賞し、県人権擁護委員による賞状の伝達式が行われました。優秀賞に選ばれたのは、一年佐々木公則君の「僕はつらいんだよ」というじめについて書いた作文です。いじめを根絶するにはどうしたらいいのかを深く考えた末、自分がより多くの人を救うためにできることは、経験を書くことで多くの世の中の人にいじめに関心をもってもらうこと。それが解決の一助になると思います、この作文に取り組んだそうです。大人でさえ辛い思い出は忘れてしまいたいもので

すが、今、悩んでいる人のために、あえていじめと向き合い、振り返った勇氣ある作品です。

奨励賞として選ばれたのは、同じく一年大沼陸人君の「ぼくのおじいちゃん」です。元気なころにはいつもかわいがって、世話をやいてくれたおじいさんが病気になる、その回復を願って家族がお互いを支えあっている様子を書いた作品です。

中学生の心の中にこんなにも深く人を思いやる気持ちがあることに頼もしさを感じました。こちらの作品も三月に発行される人権作品集に掲載されます。



中学生の心やさしい 人権への思い

12 / 12

身も心も引き締まる 出初め行進

1 / 4

身を斬る寒風の中、年の初めを飾る消防出初め式と分列行進が、日詰商店街を皮切りに行われました。行進したのは消防団員、婦人消防協力隊員、紫波消防署員の総勢二百七十人で、凛々しい行進に商店街にはしばし緊張感が漂いました。消防団員は万一の災害時に備え生業の傍ら訓練を重ね、安全で安心なまちづくりに向けて昼夜を分かたず努力されており、今年一年の無火災、そして災害のないことを参加者一同が願ってやみません。わたしたちも、災害に備え、地域での話し合いを行い、避難訓練、自助共助の体制を作っていきたいものです。





町では二月から婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁の届書を持参した人に対して、身分証明書による本人確認を実施しています。虚偽の戸籍届出事件を防止するために行われるこの取り組みは、県内すべての市町村で実施されており、今年度中には全国の市区町村で実施される予定です。

役場に戸籍の届出があつた場合、現在の戸籍制度では、たとえそれが本人の知らない間に第三者が行つたものでも、内容に不備がなければ届書は受理され、戸籍に記載されてしまいます。万が一不実の記載がされた場合には、申出再製制度により、裁判所や法務省の許可を得て戸籍を訂正することができますが、被害にあわれた人が精神的苦痛を受けてしまうことになりはなりません。

こうした届出を防止するために実施している本人確認ですが、

現在役場の窓口でできるのは、戸籍を持参した人がだれなのかを明確にし、本人確認ができなかつた届出人に対して届出があつたことを早期にお知らせすることにとどまります。

住民の皆さんの協力なくして戸籍を守っていくことはできません。戸籍の正確性を維持し、安心して届出ができるよう、戸籍制度に対するご理解と本人確認実施へのご協力をお願いします。

皆様の戸籍を守るため 不正な届出を防止します

2 / 1~



紫波町空手道協会と不来方、中央盛岡第三高等学校の合同寒稽古が四十八人により行われました。総合体育館を出発し、日詰商店街、ナックス、紫波警察署を経由し赤石神社そして堤防を走ります。中学生以上は裸足です。沿道からの声援や拍手に少しはさしそつな小学生の笑顔もみられました。全員くじけることなく寒稽古を全うできました。

稽古に子どもを連れてきたおかあさんは、「心身ともに健康にたくましく育てたいですね。寒い中よくやっています」と子どもたちを見送っていました。

コンクリートの冷たさも なんのその寒中稽古

1 / 4

東北大会へ向け 決意表明

1 / 20



古館バスケットボールスポート少年団が県三バスケットボール交歓大会で男女とも三位となり、東北大会へ出場します。このスボ少は、毎回優秀な成績をあげ、大会では常に注目を集めています。子どもたちはそんなプレッシャーを感じさせないのびのびとしたプレーで、今年も優秀な成績となりました。東北大会は二月二十八、二十九日に福島県で行われます。日ごろの練習の成果を十分に発揮してきてほしいですね。

「1泊リフレッシュ」と「日帰りリフレッシュ」開催

自宅で高齢者の介護を行っている家族を対象に、心身の休養を図っていただくために、家族介護者リフレッシュ事業を実施します。

参加対象 自宅で要介護度3～5、障害自立度B以上及び痴呆自立度Ⅲ以上に該当する高齢者を介護している家族。

対象者にはすでにお知らせしていますが、1月以降に要介護3以上になった高齢者を自宅で介護している人も参加できます。

1泊リフレッシュの日程

〔日時〕2月26日(木)午前10時出発～27日(金)午後3時到着

保健センター集合・解散

〔場所〕秋田県鹿角市・湯瀬温泉

〔参加費〕1,000円

〔定員〕先着15人

日帰りリフレッシュの日程

〔日時〕3月4日(木)午前10時～午後3時

バスで自宅付近まで送迎

〔場所〕ラフランス温泉館・湯楽々

〔参加費〕500円

〔定員〕先着20人

申込・問合せ 長寿健康課長寿社会室 ☎671-2327、☎671-1101 有線01-8991

自動車登録、検査手続きは混み合う3月を避けてお早めに

問合せ

東北運輸局岩手運輸支局
☎637-2911

大塚アナウンサーを迎え健康フォーラム

元気で豊かな老後を過ごすために「元気はつらつ紫波・健康フォーラム2004」を開催します。今回は、生活習慣病の予防食試食とIBC大塚富夫アナウンサーを迎えての体験講演会を行います。

日時 3月5日(金) 午前11時15分～

場所 保健センター

参加費 無料

内容 80kcal バイキング教室(午前11時15分～午後1時) 糖尿病予防食の昼食試食

講演会 大塚富夫の健康メッセージ ～病が変えた生活習慣 新たなスタート!!～(午後1時30分～午後3時) **講師** IBCアナウンサー 大塚富夫さん

申込・問合せ 3月1日までに保健センター ☎672-4522へ(先着100人)

来年度の移動図書館かたくり号の申込を

平成16年度町移動図書館車かたくり号の巡回希望者を募集しています。申請できるのは、町内住居者が勤務している人5人以上で構成された団体が町内に事務所を置く事業所です。希望する人は、中央公民館事務室か、かたくり号に置いてある登録申請書と利用者名簿に記入し提出してください。

締切 3月19日(金)まで

問合せ 中央公民館 ☎672-3372

パソコン講習会

紫波町ITサポートセンターではパソコン講習会を次のとおり開催します。

昼の部(午後2時～5時)

2月

24日(火)～27日(金) EXCEL入門

3月

9日(火)～17日(水) PC入門

11日(木)～19日(金) WORD入門

23日(火)～31日(水) EXCEL入門

夜の部(午後6時～9時)

2月

24日(火)～27日(金) WORD入門

3月

9日(火)～17日(水) EXCEL入門

11日(木)～19日(金) PC入門

受講料と定員 各コース2,000円、

定員8人

問合せ・申込 紫波町ITサポートセンター ☎676-6558

Eメール help.shiwa@iris.ocn.ne.jp

花巻の翼のご利用を

花巻空港利用促進キャンペーンの一環として、沖縄ほか花巻発着の国内4コースと、国外3コースの旅行参加者を募集しています。コースにより、出発日、日程、金額が異なりますので、興味のある人はお問い合わせください。

問合せ 花巻空港整備・利用促進協議会 ☎0198-23-3381(花巻商工会議所内)

こどもの家 使用希望者を募集

町内4ヵ所のこどもの家の平成16年度使用希望者を次のとおり募集します。

対象児童 町内の小学校に通学し、下校時に家族が共働きなどで留守家庭になる児童

使用時間 月曜～金曜=下校後～午後6時/土曜・長期休み=午前8時30分～午後6時(午前7時30分～午後7時までの延長あり)

使用料 月額2,100円、延長1時間までにつき300円加算(おやつ代は別に集金)

申込締切 2月27日(金)

問合せ 各こどもの家または福祉課 ☎672-2111 内線1532 有線01-8921

日詰 こどもの家	日詰西1丁目 2-9	☎672-3261
古館 こどもの家	高水寺 字土手65	☎676-2254
赤石 こどもの家	北日詰 字白旗88-2	☎676-3313
星山 こどもの家	星山 字上谷地63	☎672-6221



紫波 フォト 歳時記

残った日々の生活・風景などを、
あなたの秘蔵・自慢の写真で紹介

あなたの作品をお待ちしています
応募先

〒028 3390 紫波町役場 環境課 紫波フォト歳時記係
☎672 2111 有線01 8972

世代間で交流する小正月



古館保育所
熊谷敬子さんの作品

「じつは、手のひらでこころするんだよ。ほつら、丸くなってきたでしょ」

おばあさん方の手ほどきを受
けながら、子どもたちは熱心に
だんご作りに挑戦しました。

一月一日を中心とする大正
月に対して、一月十五日を中心
とする小正月は、農作物の豊か
な実りを予祝する多彩な行事



があり、盛んに行われていました。
しかし昭和四十年代になると、
そのほとんどは見られなくなっ
てしまいました。

今、小正月行事の中でも、華
やかで家族中が楽しめた、繭
(めいこ)だんご作りをミズキだ
んごとして、各地区の高齢者が
保育施設の子どもたちに伝えて
います。

高齢者と幼児の交流は、行事
の伝承だけではなく、豊かに重
ねた年輪の温もりをも伝えてく
れます。きれいに出来上がったミ
ズキだんごの下で、交流は和や
かに繰り返され、ゆったりとし
た時が流れるのです。

野崎 ^{かある}佳織さん

(2年)

華やかさをイメージした面です。特に赤紫色のグラデーションにこだわって顔の立体感を表現しています。細いまつげに色を付けるところがひと苦労。バスケット部でスポーツ好きですが、家ではお香に凝っていて、ペリーの香りが最近のお気に入りです。



紫波一中
[作品名] 面を作る

太田 ^{ちあき}千明さん

(2年)

へびをイメージしたお面です。ちょっと口元が微笑んでいますが、瞳の向こうには何か不気味なものを感じる...そんな表情の面です。うろこを一つひとつ彫ることが、苦労したところです。ハードボイルドからファンタジーまでさまざまな分野の本が好きで、気に入ると1日で読んでしまうほどです。



アール・コージュ 中高生の芸術